

1993年 9月15日号
(平成5年)

No.643

毎月1日・15日発行

発行 芦屋市役所(広報課)
☎0797-31-2121
〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号

前フィリピン大統領 コラソン C.アキノ女史を招き 「第1回地球家族会議」を開催



日時・会場 11月20日(土) 午後2時～4時30分 ルナ・ホール
プログラム ①コラソン C.アキノ女史の基調講演「開発と女性」
②シンポジウム

パネリスト

コラソン C.アキノ女史
成蹊大学教授 広野 良吉 氏
国際協力事業団 水田加代子 氏
兵庫県知事 貝原 俊民 氏
芦屋市長 北村 春江

コーディネーター

外交評論家 磯村 尚徳 氏

申込方法 往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入して下記へ郵送。
10月13日(水)必着。多数のとき抽選。電話申込は不可。

問い合わせ 国際交流課 (〒659芦屋市精道町7-6、☎38-2008)
または国際交流協会 (☎34-6340)

アキノ女史からの メッセージ

国際協力事業の一環として、芦屋市がこのたび地球家族会議を開催されることになり、またこの会議に参加させていただくこととなりまして、とても嬉しく思っております。

今回のシンポジウムにおいては、恵まれざる人々の生活向上のための自助努力を支援することこそが、国際平和実現のための必須条件である、ということに焦点をあてておられることを大変嬉しく思います。

また、今回の会議は市民のかたがたの協力を得て、日本とフィリピンの開発協力を深めていくために、大変意義のある機会であると思います。

芦屋市長の国際協力についてのすばらしい理念に鑑みましても、芦屋はまさしく地球家族会議にふさわしい開催地であり、その芦屋から国際協力について真に意義深い発信ができることを心から期待しております。

芦屋市民の皆さまとお会いできることを心から楽しみにしております。

この会議は民族や国の違いを越え、共に生きる地球家族を目指すもので、私たちアジア人として、市民レベルでの国際協力の糸口を探り、さらに具体的な実践活動につなげるための事業として展開するものです。

一九八〇年代は「地方の国際化」といわれ、各自治体で姉妹・友好都市交流といった事業が展開されてきました。ところが、九〇年代に入ると国際協力・貢献といった地球規模での流れが強まってきて、社会状況はまさに「交流の時代」から「国際協力の時代」へと変化しつつあります。

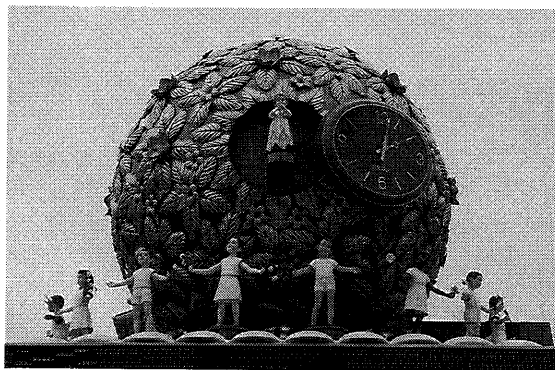
本市でも昨年十月に国際交流推進懇話会から「芦屋市の国際交流のあり方」の一つとして、「自治体レベルでも積極的に国際協力・貢献する施策を推進すべきである」との中間答申をいただいています。このたびこれを受けて第一回「地球家族会議」を開催します。

社会・経済活動における女性の役割については、世界の総労働時間の約半数以上は女性によるものと言われながらも、所得・社会的地位の面からみると、まだ十分に評価されていない状況があります。

一九七五年の女性に関する世界会議を契機に、開発途上国における効果的な開発をすることが認識されたのははじめ、国際的な取り組みが行われるようになりました。

宇宙を旅する地球号に乗り合わせた仲間として開発途上国の女性たちの努力に対し、望ましい協力のありかたを共に考えようとするものです。

開発と女性



国際俳句シンポジウム芦屋

～俳句又は詩を通して見た「自然と人間」～

日時・会場 10月8日(金) 午後1時～5時 ルナ・ホール
プログラム ①基調講演/稲畑 汀子氏(日本伝統俳句協会会長、芦屋市教育委員)
②シンポジウム
コーディネーター/稲岡 長 氏(日本伝統俳句協会理事)
パネリスト/ギュンタ・クリンゲ氏(ミュンヘン独日協会会長)
ジャクリーヌ・コーエン氏(早稲田大学講師)
ジュリエット・カーペンター氏(同志社女子大学助教授)
瞿 麦氏(岐阜経済大学教授)

参加費 1000円(当日会場で受け付けます)
・入場料の半額500円は、アキノ財団に寄付します
問い合わせ 国際交流課(☎38-2008)または国際交流協会(☎34-6340)

「国際協力の日」フォーラム'93

～今求められる国際協力とは～

日時・会場 10月18日(月) 午後1時30分～4時 ルナ・ホール(入場無料)
プログラム ①基調講演/西川 潤 氏(早稲田大学教授)
②シンポジウム
コーディネーター/村山 公彦氏(☎アジア協会アジア友の会理事)
パネリスト/ペトロ B.フィルマーノ氏(在神戸フィリピン領事)
マリ・クリスティーン氏(コミュニケーター)
織田 峰彦氏(読売新聞論説委員)
村松 紀子氏(元青年海外協力隊員)
岩本 克 氏(国際協力事業団理事)

問い合わせ 国際交流課(☎38-2008)または国際交流協会(☎34-6340)

教育のページ

このページの問い合わせは市教委
学校教育課(☎382087)へ。

平成5年度芦屋市立中学・高校生海外派遣事業

アメリカでの16日間

モンテペロ市・ウォールナット・クリーク市(7/27~8/11)



サマースクールのなかま

市立芦屋高等学校生徒の海外派遣事業は今年で六年目を迎えました。本年度から、三名の高校生に六名の中学生も加わり、引率者もふくめて総勢十二名の派遣となりました。

芦屋市の姉妹都市モンテペロ市を訪問した後、ウォールナット・クリーク市でホームステイしながらアメリカならではのすばらしい体験を積み、ひとまわり大きく成長して帰ってきました。

ここでは、生徒たちの声をお届けします。

新しい出会い

多くの人との新しい出会いを求めて、期待に胸ふくらませて参加した中・高校生ですが、さて二週間の間にどんな出会いがあったのでしょうか。

(今野) ロサンゼルス空港に着くと色々な人種の人があった。国境がとれたと思った。ホストファミリーはとも仲がよくて僕を気づかなくてくれた。初めは英語がわからず聞き流していたが、これではいけないと思い、一生懸命取り組んだ。なんとか

言葉の壁を乗り越えることができた。(森井) ホストマザーがアイロン掛けをしている間に子ども達は食事の用意、掃除、洗濯をする。私も「じ

なさい」と言われた。言葉がわからないときは辞書を引きなさいとも言われた。すぐには人に頼ってはいけないのだと思った。

(吉田) いろんな人に出会えてよかった。アメリカはどんな人も受け入れてくれると思った。ホストマザーにはよくしてもらったし、ホストファ

派遣生徒.....

- | | |
|------|----------|
| 亀井由香 | (市芦高3年) |
| 吉田弘美 | (// 3年) |
| 西口雄貴 | (// 2年) |
| 松下小織 | (精道中3年) |
| 森井敬子 | (// 3年) |
| 今野良明 | (山中3年) |
| 上杉由佳 | (// 2年) |
| 紺谷文子 | (潮見中3年) |
| 中松香織 | (// 3年) |

引率者.....

- | | |
|------|-----------|
| 丹下秀夫 | (市教委指導主事) |
| 原田和美 | (市芦高教諭) |
| 藤村美和 | (精道中教諭) |

子育てセンター 巡回ランド秋組予定表

春の4幼稚園に続いて各幼稚園を巡回する「なかよしランド」の秋組の6幼稚園巡りを次のとおり行います。親子体操、親子ゲーム、指人形などもりだくさんのメニューを用意して、0歳~幼稚園児までのお子さんと保護者のみなさんのご参加をお待ちしています。

秋組後期日程表

西山幼稚園	9月17日(金)
	9月22日(水)
	9月29日(水)
潮見幼稚園	9月24日(金)
	10月1日(金)
	10月8日(金)
伊勢幼稚園	9月27日(月)
	10月4日(月)
	10月20日(水)
岩園幼稚園	10月22日(金)
	10月25日(月)
	10月27日(水)
宮川幼稚園	11月5日(金)
	11月12日(金)
	11月15日(月)
精道幼稚園	11月22日(月)
	11月29日(月)
	12月6日(月)

時間はいずれも午後2時~3時30分

ミリーでは自分の家にいるようにくつろげた。広くて大きなアメリカへ行く自分の心まで大きくなり、いろいろなことができるように感じた。

(中松) 一番驚いたことは個人の部屋に勉強机がないことだ。アメリカの友達に聞くと「夏休みは宿題がなく、ふだんも宿題は出ないから、家では勉強しない」と教えてくれた。テストや受験等で勉強ばかりして、遊べない日本の子どもとは大違いだと思った。

(紺谷) 親切がとても自然だと思っただ。その親切が正しいと思っただ素直に実行する。また、親切を受ける必要のないときには「サニキュー」と言う。言われた相手も気にしない。大事なことは相手の親切に対して心から感謝して「サニキュー」と言うことだとわかった。

(上杉) 対面するとき「YUKA」と呼んで、まるで昔からの知り合いのように自然な雰囲気私を迎え入れてくれた。アメリカでは先生と子

ども、先生と親が大変仲がよく、レッスンは終わっても楽しい会話が続く。親子の仲もよく、ほめるときにはほめ、叱るときにはきちんと叱る。この習慣は素晴らしいと思った。

自分を見直す

言葉の十分通じない世界で、全体を使ってコミュニケーションをはかっていたかねばならなかったわけですが、それは知らずも自分を見直す機会となったようです。

(松下) 家族同士がしばしば議論しているのを見た。私もホストファミリーの女の子と買物の最中に議論をした。楽しいはずの一日が最悪の一日になった。このときアメリカでは思っていることを自分ではっきりと言わないといけないと感じた。初

めはこのことに気づかずみじめな思いをしたが、このことに気づいてから私のアメリカ生活は充実したものになった。

(亀井) サマースクールに参加して日本人は本当に私語が多いと気づいた。アメリカでは先生が話している間は決して話してはいけないと聞いていたが、実際に体験してなおさら反省した。予想していたよりすばらしい体験だった。自分の中で何かが変わったような気がする。

(西口) ウォールナット・クリーク市の近くの山に登った。まるい空と大地の間の線が三百六十度続いている。僕は言葉をなくした。これがアメリカだと思った。いつかきつことこんな景色のようにでっかい人間になりたいと思った。

引率の先生は次のように感想を語ってくれました。

たばこの吸い殻が落ちていない。通りすがりの人もお店の人も笑ってあいさつしてくれる。こんな印象から「勉強して何のためにするんだらう」「同じ歳なのにおとなだなんて思う子がたくさんいるけど、わたし達と何が違うんだらう」といったことを考えた二週間でした。子ども達は今の高揚感を忘れず前進していつてくれるでしょう。



高齢者センターで

みんないや 差別するのさ されるのさ

山手小学校六年 田中 温子
(「差別をなくそう県民運動」入選作品)

平成6年度幼稚園教員採用試験

- 日時...10月11日(月)午前9時 ●会場...芦屋市立精道小学校
- 対象...昭和41年4月2日以降出生の人で、幼稚園教諭普通免許状の所持者または平成6年3月31日までに取得見込みの人
- 採用予定数...若干名 ●出願期間...9月20日(月)~9月30日(木)
- 問い合わせ...教育委員会教職員課(☎38-2003)(募集要項を交付)

私立幼稚園児奨励金

市内に居住し、私立幼稚園に3歳・4歳・5歳児を通園させているご家庭で、世帯合算の総所得金額が8百万円以下の世帯を対象に年額3万円~11万4000円の奨励金を交付します。

申し込みは、9月30日(木)までに、市内の私立幼稚園在園者はその幼稚園へ、市外の私立幼稚園在園者は教育委員会総務課(☎38-2085)へ。



花房晴美 ピアノリサイタル

10/16(土) 6時30分開演(6時開場)
入場料/¥3,500(前売) ¥4,000(当日)
会場/ルナホール(芦屋)

PROGRAM
ベートーヴェン: ソナタNo.14「月光」
シューマン: 子供の情景
スクリャーピン: 炎に向かって
リスト: オーベルマンの谷
コンソレーションNo.3
メフィストワルツNo.1

チケット発売所/ (芦屋) 市民センター内ルナ・ロッサ、芦屋セルヴィス、モンテメール大畜、東ラポルテ3Fチケットセゾン(大阪・神戸)チケットセゾン(06)308-9999、チケットぴあ(06)363-9999、関西プレイガイド協会(06)456-2555

この「広報あしや」を公演当日ご持参の方は、当日券を前売券料金扱いとします。 ※前売券売り切れの場合は、当日券を発行致しませんので、上記扱いも中止となります。

▶問い合わせ▶
芦屋市文化振興財団
業平町8-24
(☎31-4962)